

(冒頭文案 H19.1.20)

新しい茅ヶ崎海岸のグランドプラン

平成17年11月、フィッシュセンター跡地に14階建てマンション計画が持ち上がりました。これまで私たちが見慣れた茅ヶ崎海岸の景観が変貌する一危機感を覚えた多くの市民がこのマンション建設の反対運動に参加し、その思いは茅ヶ崎市内外にも伝わり、わずか3ヶ月に3万を超える署名が集まりました。

この反対運動の機に、「我々の手で茅ヶ崎海岸の未来を考えよう、あるべき茅ヶ崎海岸の姿を描こう。」という声が多くの人々に届くことになったのです。

平成18年2月25日、マンション業者は、工事を中断し、茅ヶ崎市民が提示するグランドプランの方向性に準じた土地利用を考えるとの英断を下しました。

そして平成18年4月、市民を中心とした「茅ヶ崎海岸グランドプラン推進会議」が発足し、8ヶ月の熱い議論を経て、「茅ヶ崎海岸グランドプラン」が完成しました。

この茅ヶ崎海岸地域は、観光という視点からは多くの夢が膨らむ反面、海浜侵食問題、災害問題、海岸植生の破壊など、多くの問題を抱えています。

グランドプラン推進会議では、一気呵成の華やかなリゾート開発案を推進する素見も出されましたが、この地域に関する数々の調査を行い、地権者、住民、長年ここで「業」をたてる人たちとの共感を醸成する中で、エコロジーという観点に立った長期ビジョンを検討すべきである、という総意を得るに至りました。それには一定の時間軸が、茅ヶ崎海岸を再生するためには必要である—という結論にたどり着いたのです。

大地に落ちた一滴の水が川となって海に流れ着き、やがて空に昇り、雲となって再び大地を潤すように、地球上では全てが自然の摂理に基づいて循環しています。私たちも長期的な視点に立って茅ヶ崎海岸の将来を考えるべきであると考え、20年というタイムスパンを想定しました。

このグランドプランは、市民と地権者等及び行政の三位一体の中で作り上げられた、茅ヶ崎海岸のマスタープランとなるものであります。

議会の声や関連する上位計画などと合流して「茅ヶ崎海岸グランドプラン」は、今後、「美しい茅ヶ崎」、「誇りと思える茅ヶ崎」の創造のための一助となることを確信するものであります。

茅ヶ崎市民のみなさんとともに、新しい茅ヶ崎海岸のグランドプランの実現に向かって、取り組んでいきましょう。

平成19年1月15日

茅ヶ崎グランドプラン推進会議